

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2006年1月31日から無期限です。	
運用方針	「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」（米ドル建）への投資を通じて、主としてインドの株式（ADR（米国預託証券）およびGDR（グローバル預託証券）を含む）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）（円建）への投資も行います。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要運用対象	アムンディ・リソナインド・ファンド	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)
	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	インドの株式（ADR（米国預託証券）およびGDR（グローバル預託証券）を含む）
	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	株式（新株引受権証券及び新株予約権証券を含みます）への直接投資は行いません。外貨建資産（外貨建資産を組入可能な投資信託証券を含みます）の投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎決算時（年2回、原則毎年6月15日および12月15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分も含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

愛称：マハラジャ  
アムンディ・  
リソナインド・ファンド

## 運用報告書（全体版）

第38期（決算日 2024年12月16日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

< 4116115・4171385 >

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数	騰落率		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配額)	税金 分配	み 金		期 騰	中 落			
	円	円	%		%	%	%	百万円	
34期(2022年12月15日)	13,403	500	11.2	40,920	12.1	0.1	97.3	25,570	
35期(2023年6月15日)	13,550	500	4.8	42,156	3.0	0.1	96.2	27,347	
36期(2023年12月15日)	14,883	500	13.5	48,977	16.2	0.1	98.3	34,394	
37期(2024年6月17日)	17,563	1,000	24.7	63,792	30.2	0.1	98.0	51,199	
38期(2024年12月16日)	16,164	1,000	△2.3	63,844	0.1	0.1	98.8	54,046	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。  
(参考指数について)

参考指数は、MSCIインド10/40インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)です。ただし、設定日から2011年3月14日までの参考指数はBSE SENSEX インド指数(円換算ベース)でした。参考指数はBSE SENSEX インド指数(円換算ベース)と連続させて指数化しています。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。MSCIインド10/40インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。以下同じ。

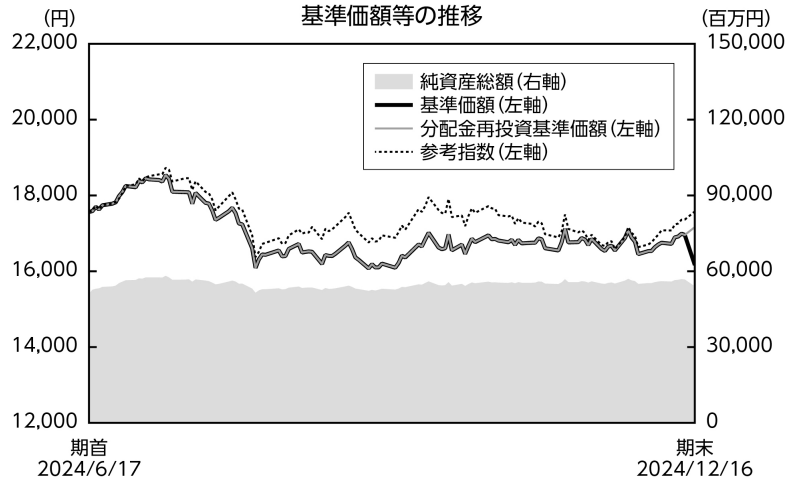
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	騰落率		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	円	%		%	%		
(期首) 2024年6月17日	17,563	—	63,792	—	0.1	98.0	
6月末	18,249	3.9	66,281	3.9	0.1	98.0	
7月末	17,530	△0.2	65,012	1.9	0.1	97.9	
8月末	16,462	△6.3	62,413	△2.2	0.1	98.5	
9月末	16,625	△5.3	63,974	0.3	0.1	98.4	
10月末	16,843	△4.1	62,699	△1.7	0.1	98.7	
11月末	16,451	△6.3	60,425	△5.3	0.1	97.9	
(期末) 2024年12月16日	17,164	△2.3	63,844	0.1	0.1	98.8	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## 【基準価額等の推移】

第38期首	17,563円
第38期末	16,164円
既払分配金 (税込み)	1,000円
騰落率	△2.3% (分配金再投資ベース)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 参考指数は、MSCIインド10/40インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。
- (注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2024年6月17日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は、前期末比で下落しました。

### 上昇要因

2024年6月の総選挙でのモディ首相率いる与党連合の再選、および11月のマハラシュトラ州議会選挙でのBJP（インド人民党）等の与党連合の勝利により、政治安定化への期待が高まって、市場センチメントが押し上げられました。

### 下落要因

2024年6月、8月、10月は、中東地域の緊迫化、原油価格の高騰、世界経済の減速が市場に悪影響をおよぼしました。また、期を通じて円高が進行したこともマイナスに働きました。

## 【投資環境】

### <インド株式市場>

当期中に、BSE Sensex指数は現地通貨ベースで上昇しました。セクター別では、情報技術、ヘルスケアおよびコミュニケーション・サービスが好調だった一方、生活必需品、公益事業およびエネルギーは振るいませんでした。

また、同期間中、海外および国内機関投資家のフローは引き続きプラスとなりました。

ニフティ50指数構成銘柄の今年度第2四半期（2024年7－9月期）決算は緩やかな伸びを示しました。EPS（一株当たり利益）の伸び率はここ数年は高水準で推移していましたが、足元では名目GDP（国内総生産）成長率に沿った水準となり、さらなる拡大には売上高の回復が必要とみられます。

インドの第2四半期GDP成長率は前年同期比で減速し、インド準備銀行（中央銀行）や市場の予想を下回りました。減速の要因は選挙関連の支出の鈍化、悪天候による建設活動の停滞などでした。しかし、10月－11月の経済指標は、地方の消費や財政目標の達成を目的とした政府支出の増加に支えられ、緩やかな回復を示唆しました。

足元ではBSE Sensex指数は過去の平均と比較して、高いPER（株価収益率）で取引されています。主要指数のバリュエーションは緩やかに低下しており、同様に株式センチメント評価も緩やかに低下し、過度の楽観を示す水準から離れつつあります。しかし、いずれの指標も行き過ぎた状態が完全に正常化していることを示す水準にはまだ達していません。

### <為替市場>

当期のインドルピー／円相場は下落しました。期初は1.9円程度で始まり、7月上旬にかけて一時上昇したものの、その後は下落に転じました。7月中旬に日本の当局による為替介入が入ったとみられ急激な円高が進行していたところに、日銀による追加利上げの決定、植田総裁による想定外のタカ派的発言、さらには予想以上の米国経済指標の鈍化、米国での利下げ観測の高まりなどが要因となり、円高がさらに進行し、インドルピー／円相場は1.6円台まで下落しました。9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において0.50%と大幅な利下げが決定した後は円安へ転じ、11月中旬にかけてインドルピーは上昇しました。その後一時下落したものの、当期末にかけては上昇基調となり1.8円台前半で当期を終えました。

### <日本短期国債市場>

当期の短期国債市場では、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物利回りが緩やかに上昇しました。TDB3ヵ月物利回りは、2024年7月の日銀による0.25%への利上げを受けて、0%近辺から0.1%近辺へと上昇しました。その後、担保としての需要が高まる局面で利回りが再度0%近辺まで低下する局面もありましたが、追加利上げの観測が高まる中、当期末に向けては0.15%近辺まで上昇しました。

## 【ポートフォリオ】

### <当ファンド>

当ファンドは主として、インドの株式（ADR（米国預託証券）およびGDR（グローバル預託証券）を含む）を主要投資対象とする「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」と「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」に投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行いました。当ファンドは「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」に90%以上投資することを基本方針としていることから、当該ファンドを高位に組入れ運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

## <Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ>

当ファンドは当期中に、情報技術、金融、生活必需品、ヘルスケア、エネルギーのウェイトを引き上げ、一般消費財・サービス、資本財・サービス、素材のウェイトを引き下げました。

当期中にパフォーマンスへプラス寄与したのは、一般消費財・サービスのオーバーウェイト、金融、公益事業の銘柄選択等でした。一方、生活必需品の銘柄選択等はマイナスに働きました。

(アムンディ・ホンコン・リミテッド)

## <CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

当期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債や短期国債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### 【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### 【今後の運用方針】

#### <当ファンド>

引き続き、当ファンドが主に投資する「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」の組入比率を高位に維持する予定です。この投資比率は短期的な視点で判断するものではなく、継続性を重視しています。なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

## <Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ>

米国大統領選挙でドナルド・トランプ氏が勝利したことから、市場予想が変化し、米国国債利回りの上昇、米ドルの上昇、株式の急騰などにつながりました。一方、トランプ氏の予測不可能性、インドの財に対し関税が課される可能性、米国の金利上昇が新興国におよぼす影響などがリスクとして考えられます。

過去数年間にわたって堅調に伸びていたEPS成長率は2024年7-9月期に鈍化し、さらなる上昇を後押しするには売上高の回復が必要と考えます。インドの成長期待と、多くのセクターで価格決定力が回復していることから、当ファンドは中期的な収益見通しについて前向きです。長期的な見通しは、収益の拡大サイクルによって支えられており、12年にわたって低下していたGDPに占める企業収益の割合は上昇に転じています。製造業の復活、一人当たりGDPの増加、世界的な景気回復などが、中長期的な収益成長への前向きな見方を維持する要因となっています。足元で混乱が続くなか、市場では強固なビジネスモデル、目にみえる収益成長、持続的なキャッシュフローを有する企業が選好され、ファンダメンタルズ（基礎的条件）の重要性が強調されています。

上述のように、インドの長期的な投資テーマは引き続き魅力的であると考えており、その背景には都市化、デジタル化、サプライチェーンの再構築、ESG（環境・社会・ガバナンス）などの要因があります。当ファンドの戦略は引き続き投資プロセスに重点を置き、事業基盤、経営の質、バリュエーションという3つの基準に基づき企業を特定するボトムアップ・アプローチに注力します。当ファンドはこのプロセスが新たな投資機会の特定に寄与するのみならず、潜在的なリスクの回避にも役立つと考えます。

(アムンディ・ホンコン・リミテッド)

## <CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 38 期 (2024年6月18日 ～2024年12月16日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	106円 ( 35 ) ( 65 )  ( 5 )	0.620% (0.208) (0.384)  (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 )	1 ( 0 )  ( 1 )	0.004 (0.000)  (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	107	0.624	

期中の平均基準価額は17,026円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

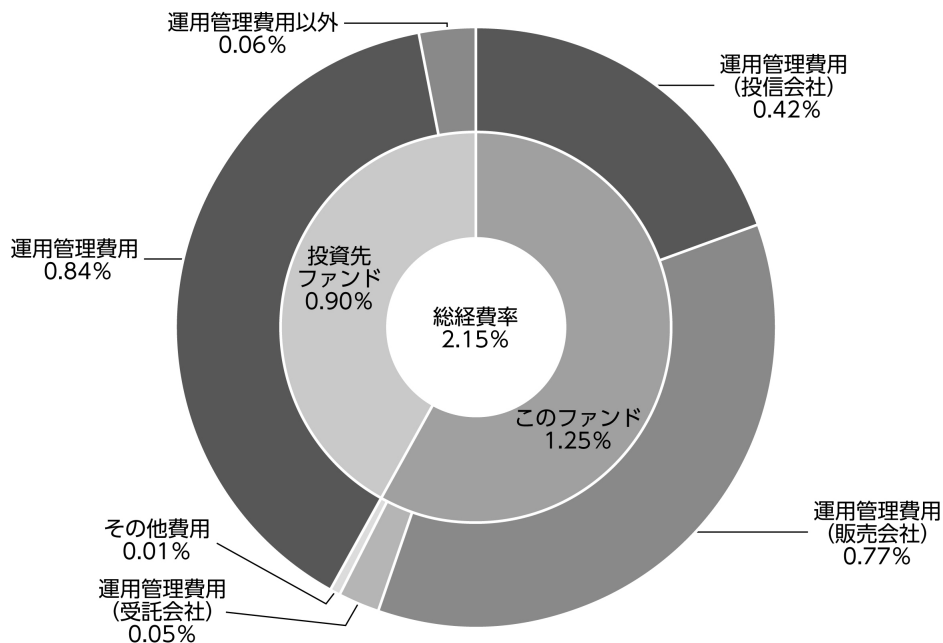
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



総経費率 (①+②+③)	2.15%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年6月18日から2024年12月16日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	(ルクセンブルク)	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	88	46,899	39	20,649

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等（2024年6月18日から2024年12月16日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年12月16日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘	柄	期 首 (前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
C Aマネープールファンド（適格機関投資家専用）		30,735	30,735	30,799
合 計	口 数・金 額	30,735	30,735	30,799
	銘 柄 数 <比 率>	1	1	<0.1%>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 外国（外貨建）投資証券

銘	柄	期 首 (前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
		千口	千口	千米ドル	千円
(ルクセンブルク)					
Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ		607	656	347,055	53,418,744
合 計	口 数・金 額	607	656	347,055	53,418,744
	銘 柄 数 <比 率>	1	1	—	<98.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。



■投資信託財産の構成 (2024年12月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 30,799	% 0.1
投 資 証 券	53,418,744	92.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,343,391	7.5
投 資 信 託 財 産 総 額	57,792,934	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (53,446,967千円) の投資信託財産総額 (57,792,934千円) に対する比率は92.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2024年12月16日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=153.92円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年12月16日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	57,815,672,274円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,320,289,109
投資信託受益証券(評価額)	30,799,753
投資証券(評価額)	53,418,744,758
未 収 入 金	45,825,650
未 収 利 息	13,004
(B) 負 債	3,769,240,379
未 払 金	23,084,955
未 払 収 益 分 配 金	3,343,710,528
未 払 解 約 金	59,882,915
未 払 信 託 報 酬	340,561,981
そ の 他 未 払 費 用	2,000,000
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	54,046,431,895
元 本	33,437,105,286
次 期 繰 越 損 益 金	20,609,326,609
(D) 受 益 権 総 口 数	33,437,105,286口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,164円

(注記事項)

期首元本額	29,152,946,090円
期中追加設定元本額	6,336,343,941円
期中一部解約元本額	2,052,184,745円

■損益の状況

当期 (自2024年6月18日 至2024年12月16日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,216,419円
受 取 利 息	2,216,419
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 811,794,274
売 買 損 益	347,247,002
売 買 損 益	△ 1,159,041,276
(C) 信 託 報 酬 等	△ 342,629,770
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 1,152,207,625
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	15,452,190,677
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,653,054,085
(配 当 等 相 当 額)	( 14,902,008,273)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,248,954,188)
(G) 計 (D+E+F)	23,953,037,137
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,343,710,528
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	20,609,326,609
追 加 信 託 差 損 益 金	9,653,054,085
(配 当 等 相 当 額)	( 14,902,008,273)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,248,954,188)
分 配 準 備 積 立 金	12,108,480,149
繰 越 損 益 金	△ 1,152,207,625

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(14,902,008,273円)および分配準備積立金(15,452,190,677円)より分配対象収益は30,354,198,950円(10,000口当たり9,077円)であり、うち3,343,710,528円(10,000口当たり1,000円)を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第38期
1 万口当たりの分配金 (税込み)	1,000円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
- また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項 目	第38期
	(2024年6月18日～2024年12月16日)
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	(5.826%)
当期の収益	—
当期の収益以外	1,000
翌期繰越分配対象額	8,077

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## &lt; 1. 補足情報 &gt;

組入ファンド「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」の決算日（毎年6月末日）と当ファンドの決算日が異なっていますので、2024年12月13日現在の情報を掲載しています。

## ■ 有価証券明細（評価額上位30銘柄）（2024年12月13日現在）

株式

	銘柄	通貨	株数	評価額 (米ドル)
インド	HDFC BANK LTD	INR	3,969,443	87,616,924.23
	INFOSYS TECHNOLOGIES	INR	3,194,810	75,339,107.88
	ICICI BANK LTD	INR	4,124,437	65,413,179.53
	RELIANCE INDUSTRIES LTD	INR	4,335,196	65,072,359.70
	LARSEN & TOUBRO LTD	INR	1,198,255	54,925,545.90
	TATA CONSULTANCY SERVICES	INR	800,025	42,208,548.99
	MARUTI SUZUKI SHS	INR	269,756	35,859,470.71
	AXIS BANK	INR	2,270,391	30,740,425.76
	KOTAK MAHINDRA BANK LTD	INR	1,366,321	29,093,562.72
	ULTRA TECH CEMENT	INR	185,815	26,478,811.25
	STATE BANK OF INDIA	INR	2,342,484	23,799,493.33
	POWER GRID CORP OF INDIA	INR	5,409,097	21,295,446.08
	DIVI'S LABS	INR	294,603	20,416,499.27
	ABB LTD	INR	208,016	18,896,497.97
	LTIMINDTREE LIMITED	INR	213,998	16,944,577.72
	SHREE CEMENT	INR	51,783	16,848,929.89
	HINDALCO INDUSTRIES	INR	2,072,318	16,180,449.36
	NESTLE INDIA LTD	INR	604,790	16,072,104.80
	EICHER MOTOR LTD	INR	274,147	15,601,717.42
	JUBILANT FOOD WORKS LTD	INR	1,846,708	14,837,038.07
	TIMKEN INDIA LTD	INR	387,839	14,631,992.20
	ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE COMPANY LTD	INR	612,610	14,328,279.14
	PAGE INDUSTRIES LTD	INR	24,861	14,290,083.22
	HDFC LIFE INSURANCE COMPANY LTD	INR	1,785,822	13,321,208.33
	DR. LAL PATHLABS LTD	INR	361,858	12,810,304.64
	COLGATE PALMOLIVE (INDIA)	INR	363,469	12,314,409.56
	SCHAEFFLER INDIA LTD	INR	291,345	12,300,576.01
	L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	INR	189,724	12,074,948.36
	ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD	INR	434,099	11,677,845.89
	TATA STEEL LTD	INR	6,355,134	11,162,868.57

(注) 通貨欄の表記は以下の通りです。

INR (インドルピー)

## < 2. 補足情報 >

組入ファンド「C A マネープールファンド（適格機関投資家専用）」の決算日（2024年2月15日）と当ファンドの決算日が異なっていますので、2024年12月16日現在の情報を掲載しています。

### ■主要な売買銘柄（2024年2月16日から2024年12月16日まで）

公社債

買		付		売		付	
銘柄	柄	金	額	銘柄	柄	金	額
			千円				千円
第1263回国庫短期証券		149,556		第137回共同発行市場公募地方債		50,029	
第146回共同発行市場公募地方債		100,320					
第148回共同発行市場公募地方債		80,162					

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれていません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

### ■組入資産の明細（2024年12月16日現在）

公社債

#### A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	2024年12月16日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	150,000	149,515	35.3	—	—	—	35.3
地方債証券	180,000	180,169	42.6	—	—	—	42.6
合計	330,000	329,684	77.9	—	—	—	77.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 一印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

#### B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種類	銘柄	2024年12月16日現在			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	第1263回国庫短期証券	0	150,000	149,515	2025/10/20
	小計		150,000	149,515	
地方債証券	第146回共同発行市場公募地方債	0.553	100,000	100,098	2025/5/23
	第148回共同発行市場公募地方債	0.553	80,000	80,071	2025/7/25
	小計		180,000	180,169	
	合計		330,000	329,684	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ  
 決算日 2024年6月30日  
 (計算期間：2023年7月1日～2024年6月30日)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに委託会社が翻訳・抜粋・作成しています。なお、開示情報につきましては各クラス別の情報がないため、全てのシェアクラスを含むファンド全体の情報を開示しています。

■費用の明細 (2023年7月1日～2024年6月30日)

項目	当期
	米ドル
(a)運用報酬	5,496,195
(b)成功報酬	9,330
(c)管理費用等	2,523,886
(d)その他の費用	27,622,897
合計	35,652,308

■純資産計算書 (2024年6月30日現在)

項目	当期末
	米ドル
<b>資産合計</b>	844,340,547
有価証券	805,050,764
預金	31,599,797
未収配当金	2,104,484
未収追加設定金	5,585,502
<b>負債合計</b>	33,700,578
未払解約金	4,084,912
未払運用報酬	518,806
その他の負債	29,096,860
<b>純資産</b>	810,639,969

(注) 各項目の金額の整数未満を四捨五入しているため、資産合計および負債合計並びに純資産が一致しない場合があります。

## ■ 有価証券明細 (2024年6月30日現在)

数量	評価額 米ドル	数量	評価額 米ドル
<b>株式</b>	<b>805,050,764</b>	<b>投資銀行・仲介サービス</b>	<b>22,360,473</b>
自動車・部品	81,218,749	200,819 HDFC ASSET MANAGEMENT COMPANY LTD	9,616,916
434,099 ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD	13,941,925	1,785,822 HDFC LIFE INSURANCE COMPANY LTD	12,743,557
796,001 MAHINDRA & MAHINDR	27,364,489	生命保険	15,026,169
208,915 MARUTI SUZUKI SHS	30,149,025	700,173 ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE COMPANY LTD	15,026,169
1,270,106 SONA BLW PRECISION FORGINGS LIMITED	9,763,310	石油・ガス・石炭	64,456,768
銀行	200,592,008	1,716,778 RELIANCE INDUSTRIES LTD	64,456,768
2,112,829 AXIS BANK	32,058,246	パーソナル用品	11,657,011
2,972,236 HDFC BANK LTD	60,016,803	24,861 PAGE INDUSTRIES LTD	11,657,011
3,971,144 ICICI BANK LTD	57,128,281	医薬・バイオテクノロジー	21,861,767
1,166,556 KOTAK MAHINDRA BANK LTD	25,216,217	396,610 DIVI'S LABS	21,861,767
2,570,771 STATE BANK OF INDIA	26,172,461	ソフトウェア・コンピューターサービス	77,276,980
化学	10,076,588	2,784,194 INFOSYS TECHNOLOGIES	52,311,631
1,574,998 CHEMPLAST SANMAR LTD	10,076,588	189,724 L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	11,169,116
建設・資材	102,235,809	804,302 TECH MAHINDRA LTD	13,796,233
766,819 KAJARIA CERAMICS LTD	12,949,138	テクノロジーハードウェア・機器	12,190,906
1,090,387 LARSEN & TOUBRO LTD	46,400,046	2,358,082 V GUARD INDUSTRIES	12,190,906
36,604 SHREE CEMENT	12,234,066	旅行・レジャー	14,489,523
219,066 ULTRA TECH CEMENT	30,652,559	2,145,131 JUBILANT FOOD WORKS LTD	14,489,523
消費者サービス	10,191,936	<b>合計</b>	<b>805,050,764</b>
4,816,822 FSN E COMMERCE VENTURES LIMITED	10,191,936		
電力	19,092,511		
4,810,626 POWER GRID CORP OF INDIA	19,092,511		
金融・クレジットサービス	9,210,049		
2,554,900 MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	9,210,049		
食品製造	16,565,782		
541,367 NESTLE INDIA LTD	16,565,782		
家庭用品・住宅建設用品	10,389,240		
433,524 WHIRLPOOL OF INDIA LTD	10,389,240		
エンジニアリング	32,956,427		
128,273 ABB LTD	13,061,349		
387,839 TIMKEN INDIA LTD	19,895,078		
産業資材	10,778,931		
538,301 CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD	10,778,931		
工業用金属・採鉱	47,060,220		
2,072,318 HINDALCO INDUSTRIES	17,235,870		
291,345 SCHAEFFLER INDIA LTD	16,562,687		
6,355,134 TATA STEEL LTD	13,261,663		
産業輸送	15,362,917		
274,147 EICHER MOTOR LTD	15,362,917		

## C A マネープールファンド（適格機関投資家専用）

## 運用報告書

《第17期》

決算日：2024年2月15日

（計算期間：2023年2月16日～2024年2月15日）

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

## ■投資対象ファンドの概要

運用方針	主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざして運用を行うとともに、あわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。
主要運用対象	本邦通貨表示の短期公社債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入率	純資産総額
		税込み 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
13期（2020年2月17日）	10,048	0	△0.1	61.1	788
14期（2021年2月15日）	10,042	0	△0.1	64.6	773
15期（2022年2月15日）	10,035	0	△0.1	70.8	552
16期（2023年2月15日）	10,027	0	△0.1	74.3	473
17期（2024年2月15日）	10,020	0	△0.1	70.8	495

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

## ■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率
		騰 落 率	
(期 首) 2023年2月15日	円	%	%
	10,027	—	74.3
2月末	10,027	0.0	74.3
3月末	10,027	0.0	71.0
4月末	10,027	0.0	72.1
5月末	10,027	0.0	73.6
6月末	10,027	0.0	73.9
7月末	10,026	△0.0	75.4
8月末	10,026	△0.0	65.4
9月末	10,025	△0.0	67.0
10月末	10,024	△0.0	65.9
11月末	10,020	△0.1	69.2
12月末	10,020	△0.1	71.6
2024年1月末	10,020	△0.1	74.6
(期 末) 2024年2月15日	10,020	△0.1	70.8

(注) 騰落率は期首比です。



## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 17 期 (2023年2月16日 ～2024年2月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	1円 (1) (0) (0)	0.011% (0.009) (0.001) (0.002)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	1 (1)	0.012 (0.012)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.023	

期中の平均基準価額は10,024円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■ 売買及び取引の状況（2023年2月16日から2024年2月15日まで）

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	地 方 債 証 券	351,475	— (350,000)

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれていません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 主要な売買銘柄（2023年2月16日から2024年2月15日まで）

## 公社債

銘 柄	買 付	銘 柄	売 付
	金 額		金 額
	千円		千円
第139回共同発行市場公募地方債	150,810		
第134回共同発行市場公募地方債	100,353	—	—
第137回共同発行市場公募地方債	50,289		
第11回政府保証地方公共団体金融機構債券（4年）	50,023		

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれていません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

## ■利害関係人との取引状況等（2023年2月16日から2024年2月15日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細（2024年2月15日現在）

公社債

## (A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	2024 年 2 月 15 日 現 在						
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地 方 債 証 券	350,000	350,832	70.8	—	—	—	70.8
合 計	350,000	350,832	70.8	—	—	—	70.8

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）単位未満は切捨てです。

（注3）—印は組入れなしです。

（注4）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	2024 年 2 月 15 日 現 在			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
地 方 債 証 券	第134回共同発行市場公募地方債	0.674	100,000	100,178	2024/5/24
	第137回共同発行市場公募地方債	0.566	50,000	50,143	2024/8/23
	第139回共同発行市場公募地方債	0.544	150,000	150,511	2024/10/25
	第11回政府保証地方公共団体金融機構債券（4年）	0.001	50,000	50,000	2024/8/28
	合 計		350,000	350,832	

（注）額面・評価額の単位未満は切捨てです。

## ■投資信託財産の構成（2024年2月15日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	350,832	70.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	144,454	29.2
投 資 信 託 財 産 総 額	495,286	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年2月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	495,286,649円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	143,608,953
公 社 債(評価額)	350,832,500
未 収 利 息	452,737
前 払 費 用	392,459
(B) 負 債	59,852
未 払 信 託 報 酬	53,488
未 払 利 息	424
そ の 他 未 払 費 用	5,940
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	495,226,797
元 本	494,224,101
次 期 繰 越 損 益 金	1,002,696
(D) 受 益 権 総 口 数	494,224,101口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,020円

(注記事項)

期首元本額	472,090,843円
期中追加設定元本額	134,248,238円
期中一部解約元本額	112,114,980円

## ■損益の状況

当期 自2023年2月16日 至2024年2月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,811,835円
受 取 利 息	1,905,211
支 払 利 息	△ 93,376
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,019,533
売 買 益	146,041
売 買 損	△ 2,165,574
(C) 信 託 報 酬 等	△ 113,341
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 321,039
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 683,574
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,007,309
(配 当 等 相 当 額)	( 17,080,817)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△15,073,508)
(G) 計 (D + E + F)	1,002,696
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	1,002,696
追 加 信 託 差 損 益 金	2,007,309
(配 当 等 相 当 額)	( 17,080,817)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△15,073,508)
分 配 準 備 積 立 金	6,793,356
繰 越 損 益 金	△ 7,797,969

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。